

# だから急ごう！平和安全法制

平和安全法制で守れるようになら、私達の安全な暮らし



日本に向けて発射されたミサイルから国民の命を守ります



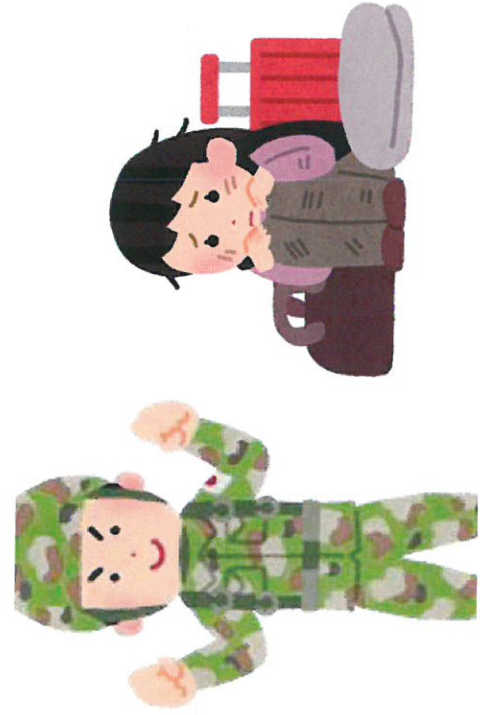
例えば、近年軍事的に急成長を続ける北朝鮮は、ノドン・ミサイルを最大で250～300基保有するのではないかとされています。近年では水中からの潜水艦によるミサイル発射にも成功し、着実に精度も向上しています。(核の搭載も懸念されています。)この様なノドン・ミサイルが、様々な場所から連続的に発射された場合、一隻のイージス艦では到底対処できません。

更には、複数のイージス艦がバラバラに対応していたら、無駄な重複や、他のイージス艦が対処するだろうと考え、結局どの艦も対応しない等の可能性があります。ミサイル対処の抜け落ちは、国民の生命そのものの危機です。

集団的自衛権が行使できなければ、米艦隊との直接の連携が出来ません。日米全てのイージス艦が連携し、必要な迎撃用のミサイルを必要な分だけ使用できれば、国民の安全性は格段に向上します。

法律の改正により、日本に向けて発射されたミサイルを日米が連携して撃ち落とせるようになり、多くの国民の命が守られます！

海外で危険な目に合った日本人を守れるようになります



現在、海外には約330万人を超える日本人がおり、その数は年々増え続けています。しかし、海外でテロや紛争が起こっても、今までの法律では、危険にさらされている日本人を救出する事が出来ません。

自衛隊員に認められているのは正当防衛・緊急避難だけだった為、現地にいるジャーナリストやNGO、日本のビジネススマンなどが自衛隊に助けを求めても助けられないのです。

しかし、日本人は毎年の様に海外でテロや、紛争、拉致等の被害を受け続けています。日本の経済は、海外からの輸入や、加工したものを輸出することで成り立っています。しかし、海外で活躍する日本人の命は常に危険にさらされています。この法律の改正で、日本国民の生命の危機に迅速に対応することが出来るようになります。

法律の改正により、海外で暮らす日本人(約330万人以上)の生命の危機に対応することができ、多くの国民の命が守られます！

時代の変化に対応し、多くの日本人を守るため  
平和安全法制の成立が必要です！